

吉沢かつらの一般質問



市民の生存権と社会保障を守る 利用しやすい介護保険制度へ

昨年から介護保険で利用できる掃除、洗濯などの生活援助サービスの時間短縮が行われ問題になっています。

私は、市に対し実態把握を求めてきました。今回は、その調査結果について質問しました。市長は「事業所へのアンケートを実施した。『ヘルパーの負担が増えた』などの回答があったが、市に利用者からの苦情はきていない。必要な改正だった」と答えました。

態をしっかりとして把握し、市は必要な改正を国に求めるべきです。

生活援助サービスの時間短縮による影響	
Q 事業所への影響	
「厳しくなった」	66・67%
Q 利用者からの苦情	
「あり」	66・67%
Q 改定への評価	
「評価できない」	58・33%

利用者からの苦情は約7割にも

しかし、アンケートでは約7割の事業所に利用者からの苦情がきています。さらに事業所の経営が「厳しくなった」も約7割となっています。こうした実



国は介護保険の要支援1と2を保険から除外、一定所得以上の世帯の自己負担を2割に引き上げるなど、制度改悪を進めようとしています。この問題について質すと、市長は「国から説明を受けていないので答えられない」と繰り返しました。改悪されると介護保険を利用できなくなる人が続出します。制度改悪は止めさせるべきです。

この他に、生活保護費削減による影響と生活保護制度改悪についても質問しました。詳しくは、入間市議会ホームページの動画配信をご覧ください。

ホームページ見てね!

日本共産党入間市議団ではホームページを開設しています。「吉沢かつらのページ」は、ほぼ毎日更新中です。活動報告や議会報告、党の政策などをお伝えしています。



日本共産党市議会議員

吉沢かつらの 市議会レポート 2013年秋号

夏の参議院選挙で日本共産党は大躍進を果たしました。私は市民のみなさんの「生活が厳しい」などの切実な声を行政に届けながら、大きくなった党国会議員団とも連携して、これからも頑張ります。ご意見・ご要望をお待ちしております。



増税・社会保障改悪は中止を!

政府は来年4月からの消費税増税を実施する意向を示しました。増税分は「社会保障に使う」と説明していますが、政府の社会保障改革の中身を見ると医療、介護、保育など各分野で国民への負担増や給付削減がズラリと並んでいます。



増税すれば暮らしが厳しくなり、消費は落ち込みます。景気が悪化

し、国の財政も厳しくなります。

共産党は、消費税に頼らない別の方法で、財政再建を進める対案をしっかりと示し、増税に反対しています。

「増税は仕方ないけど、今は実施すべきでない」という意見の人たちとも「4月からの増税ストップ!」の一点で、力を合わせて頑張ります。

日本共産党入間市議団では増税中止を求める署名に取り組んでいます。また、学校の教室にクーラーの設置を求める署名も、引き続き実施しています。ご協力をよろしくお願いします。

入間市駅で宣伝を行っています。見かけたら気軽に声をかけて下さい

川越入間大橋から飯能河原まで接続

第3回定例議会

長年の要望突り入間川河川敷に遊歩道を整備

9月定例市議会、平成25年度の一般会計補正予算は、6億4649万円を追加し、総額を380億1415万円としました。

「入間市にも遊歩道を」実現

この補正予算は、入間川河川敷に黒須の運動公園から、飯能の阿須公園まで、遊歩道を建設する事業費3000万円が含まれています。

現在、川越市の入間大橋から、狭山市の豊水橋まで22.6kmの遊歩道兼サイクリングロードがあります。

飯能市には、「水辺の散策コース」と

して、阿須運動公園から、飯能河原へと通じる遊歩道があります。

そうしたなか、長年「入間市にも遊歩道をつかって欲しい」との声が多く市の市民から寄せられていました。

健康増進を保障する場として

現在の道路2.5kmを合わせ5.5kmの歩道となり、川越から飯能河原まで遊歩道がつながることになります。

日本共産党入間市議団は、これまで市民の健康増進、ウォーキング、ジョギングを保障する場として遊歩道の整備を求

めてきました。今回の補正に対し、「一日も早い遊歩道の整備を」との市民の声に応える事業であることを評価し賛成の討論を行いました。

山本、野口、松本議員が反対しましたが、賛成多数で可決されました。



欠陥機オスプレイが上空を



「横田基地がオスプレイの有力候補地、来年初めにも

決定の見通し」のニュースに、福生・昭島・青梅などの市長が撤回を要請。市民の生命と財産を守る任務を持つ市長として当然の行為です。

入間市長は「横田防衛事務所からの情報がない」との返事で思考がストップ。米軍が決定してからでは覆せません。今、反対表明をすべきです。

共産党議員の一般質問

小出わたる議員

小中学校に速やかなエアコン設置を

石田よしお議員

欠陥機オスプレイ・武蔵藤沢区画整理

吉沢かつら議員

介護保険制度・生活保護制度の改善

安道よし子議員

平和のまちづくり・胃がん検診の改善

職員・市長・議員報酬引き下げ

今議会では職員給与と市長・副市長・教育長の給料削減の条例改正が提案されました。国は地方交付税削減という一方的なやり方で自治体に職員給与引き下げを迫りました。全国の自治体から国に対し批判の声が出されています。

入間市では1億8千万円の交付税が削減。市では市民サービス低下を招かないよう、給与削減を実施しました。

日本共産党は労使間の決定を尊重し、議案に賛成し、可決されました。議員も自主的に報酬削減を決定しました。

武蔵中学校が新設されエアコンの設置も



新校舎でスタート。新しい校舎は、廊下が広く、床や壁面などに木材が活かされ、ぬくもりがあります。

武蔵中学校の建て替え工事が終了し、2学期からは

校内はバリアフリーで、エレベーターや多目的トイレ、スロープが整備されており、トイレは明るくきれいで、屋上には太陽光発電のパネルもあります。

当然のこととして、すべての教室にはエアコンが設置されており、暑さ厳しい夏でも子どもたちは、良好な環境で学習に取り組めます。市内で全教室へのエアコン設置は、金子小・中学校について3校目。どの学校も同じ環境で学べるようエアコン設置は待ったなしの課題です。

日本共産党市議会報告

2013年10月

発行/日本共産党入間市議団
連絡先/電話2932-4415 Fax2932-5632

石田よしお	2964-4048	070(5086)2075
安道よし子	2962-8082	090(4811)0553
吉沢かつら	2964-0208	090(3514)3077
小出わたる	2932-7884	090(6542)3883